

被服構成に関する研究(第2報)

——大裁女単衣長着を主体として——

岡 綾子・野津 哲子
(被服構成学研究室)

Studies on the Garment Construction (Part2)
——On the Problem of Sewing Unlined Kimono——

Ayako OKA・Tetsuko NOTSU

I 緒 言

被服構成に関する研究として、すでに¹⁾衿肩あきの明け方・²⁾衿肩まわりの衿付け線・³⁾衿芯の入れ方について考察したが、これと同じ目的をもって、今回は単長着における本学学生の体位と標付けの関係について考察を行なって一知見を得たのでここに報告する。

II 調査方法・調査対象

- 調査方法はアンケート方式を用いた。(第1図・第2図に用いた図を配布し記入させた)
- 調査対象は本学学生被服科2年生42名。
- 調査時期は昭和48年5月上旬。

III 調査結果

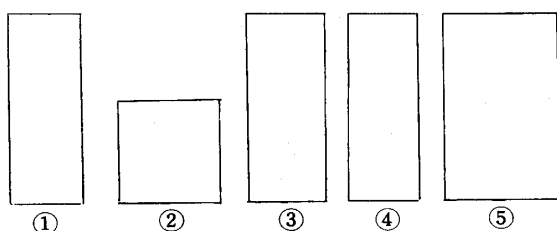
①体型にはどんなタイプがあるか

⁴⁾人間の体型にはいろいろなタイプがあるが、大きく分類すると、体格による分類と、体型各部の特徴による分類とに分けることができる。

△体格による分類

④〔 〕内は本学学生の百分率を示す

第1図 体格による分類



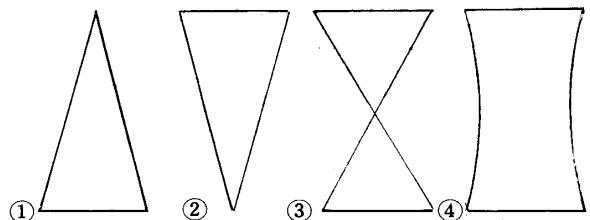
第1図は体型を一番おおまかに分けた分類である。これをみて、自分の体型がどれに近いかをまず確認してみ

る必要がある。

- ①縦・横・厚み全部が標準的なバランスを保っているタイプ。(第1図①):[60%]
- ②背が低くしかも太っている。いわゆる小ぶりのタイプ。(第1図②):[10%]
- ③やせすぎて、背が高く、すらりとしたタイプ。(第1図③):[13%]
- ④やせて、背も低く、貧相な感じのタイプ。(第1図④):[10%]
- ⑤ふとって、背が高く、たいへんボリュームのあるタイプ。(第1図⑤):[7%]

△体型各部の特徴による分類

第2図 体型による分類



第2図は、こまかいことはべつにして、ヒップとかバストなど、体型の重要な部分のちがいによって分類したものである。

- ①バストが小さく、ヒップがふといタイプ。(第2図①):[38%]
- ②胸が大きく、肩幅が広く、上半身が大きいわりに、腰の張りがなくて下が細いタイプ。(第2図②):[28%]
- ③胸も腰もふとく、ウエストだけが細くくびれたタイプ(第2図③):[19%]

- ④ウエストのくびれがなく、円筒型に近い感じのタイプ (第2図④): [15%]

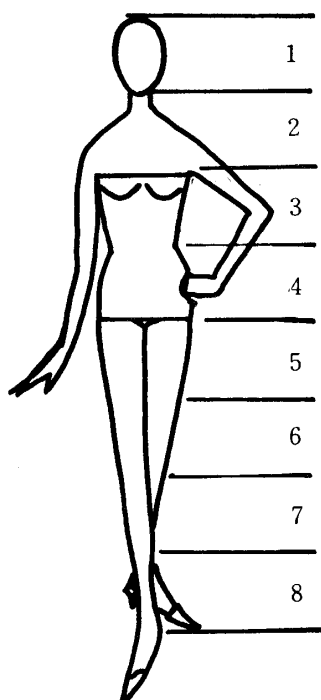
Ⅳ 標付け上の検討

①体型にあった標付けを選ぶ

△八頭身美人と和服

八頭身美人というのは顔の長さを一とし、それを八倍すると身長になる体型で、ウエストがしまり、胸とヒップが適当にゆたかにはって、足もすなりとした理想的なスタイルである。(第3図)

第3図 理想的スタイル



しかし、八頭身美人だからといって、必ずしも和服が美しく着こなせるとはかぎらない。むしろファッションモデルのように全体に細すぎるくらいの体つきのほうが一般に和服姿を美しくみせることができる。

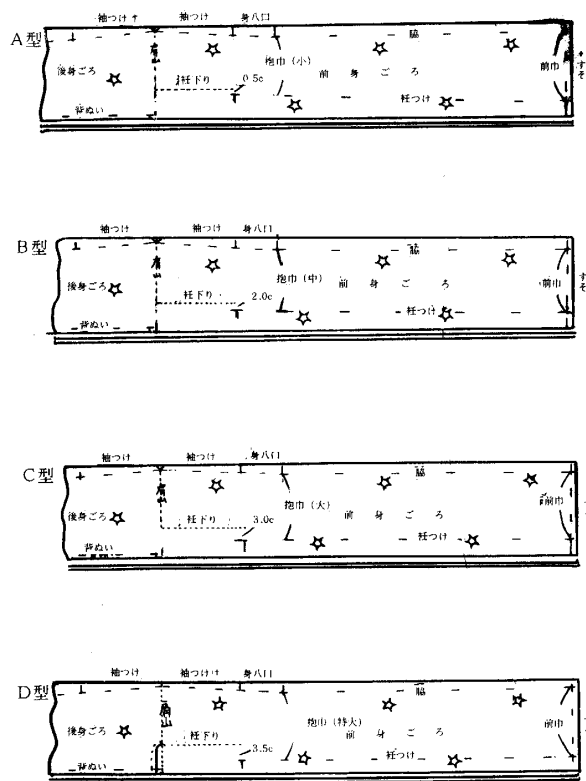
△自分の体型を知る

和服姿を美しくみせるのに大切なことは、自分の体型(からだつき)にぴったりの標付けを選ぶことである。なぜなら、ファッションモデルが和服を美しく着こなしているからといって、みながみなファッションモデルのような体型をしているとはいえない。

人間の体型には、それぞれ個性がある。その個性をいかに、欠点をうまくかくすことが標付けのポイントである。そのためには、まず自分の体の各部分のサイズをよく知り、標準寸法と照らし合わせてどこが太いか、細いかをよく確認する必要がある。同時にたんに実寸を確認するだけでなく、そこでわかった自分の欠点をかくすための寸法をも工夫してみる必要がある。

②体型の特徴にあった標付け

第4図 モデル標付け



[注1]

A型……⁵⁾指導書に示されているもの

衿下りの位置での衿付け上端を衿肩明直下垂線より0.5cm前中央に寄せたものでその結果抱巾(身八つ口止りより衿付け線までの水平距離)は20.8cm。

B型……岡・野津式

衿下りの位置で衿肩明直下垂線より2.0cm前中央によせたもので抱巾は22.0cm。

C型……岡・野津式

衿下りの位置で衿肩明直下垂線より3.0cm前中央よりによせたもので抱巾は23.0cm。

D型……岡・野津式

衿付け線を裾での前巾直上線にとるために衿下りの位置で衿肩明直下垂線より3.5cm前中央よりになり抱巾は23.5cm。

[注2]

1)モデル体型は第2表に示す通りである。

特大: 胸囲93.0cm、許容範囲 3.5cm

大: 胸囲86.0cm、許容範囲 3.5cm

中: 胸囲79.0cm、許容範囲 3.5cm

小: 胸囲72.0cm、許容範囲 3.5cm

2)モデル寸法は第1報で使用した普通仕立上げ寸法を用いた。

3)縫製方法は指導書⁵⁾を参考にした。

4)今回は上半身における胸部の体型を知り前身頃の衿付けの関係について考えた。

V 着用実験

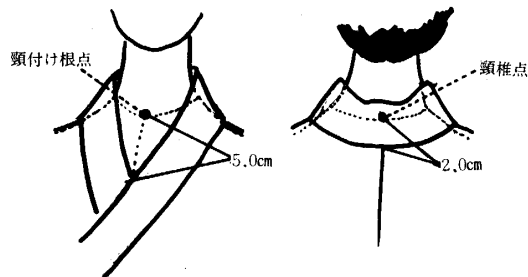
標付け上の検討において得た適応基準度の限界は着用の際し、いかに使用出来るかを試みるために着用実験を行なった。

①実験材料

- 1)10cm間隔の橙色糸Section入りシーチングを用いた。
- 2)用糸……白色カタン糸30番
- 3)用針……もめんえりしめ

②実験方法

第5図 モデル着用基準



1)第5図に示す通りモデル着用基準をはじめに定めこれにしたがって着用実験を行なった。

2)着用実験の評価を容易にするために測定は教師が次の方法にしたがって行なった。

- 前衿打ち合わせ交差点とドレス頸まわり前中央点の距離を衿下りとしmeasureにより測定する。

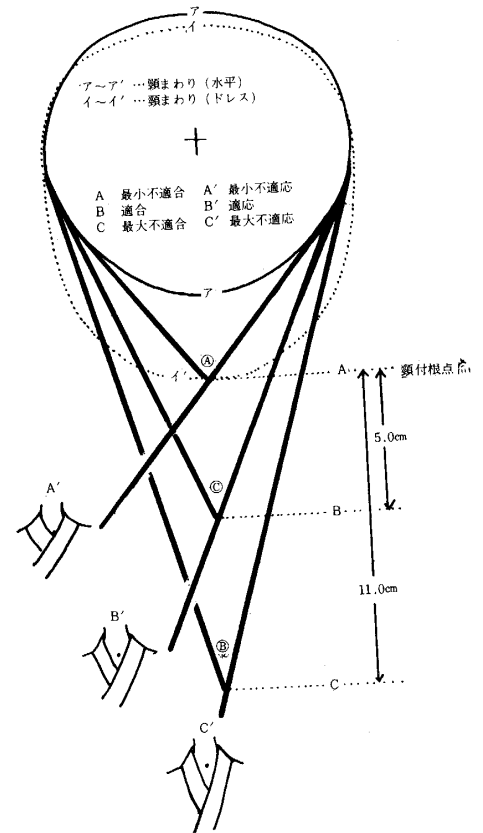
3)着用の順序

- ①被験者はあらかじめ着用時の目標として背面は頸椎点に、前正面にはドレス頸まわり前中央(頸付け根点)にmagic penで印をつけておく。
- ②ショーツの上に実験用下着(晒木綿肌着・カロラン裾よけ)を着用する。
- ③実験衣は第5図に示したごとく後は頸椎点より2.0cm下った位置に衿中心を置き、裾での後身丈は踵より3.0cmあげて右前に前身頃を打ち合わせて腰紐で固定するこの時の紐の位置は被験者のこのみの位置とする。
- ④端折りを整え今一度紐でしめ伊達巻をした上を半巾帯で結んで着用を終る。

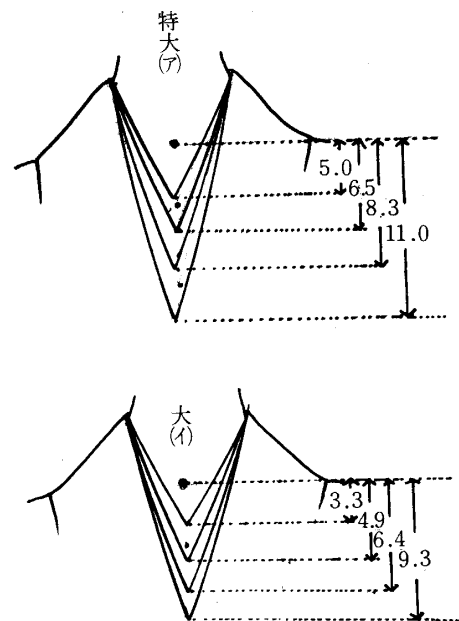
③実験結果

実験結果は第6図・第7図・第8図・第1表・第2表に示す通りである。

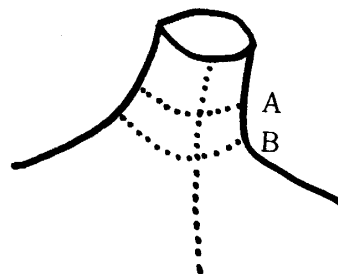
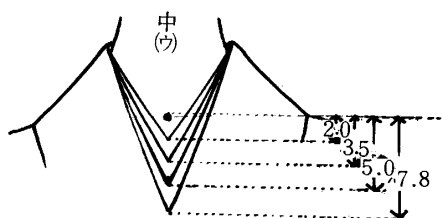
第6図 頸まわりと衿打ち合わせの関係



第7図 体位と抱巾の関係



第8図 頸まわり測定箇所



A……水平頸まわり

B……ドレス頸付け根まわり

第1表 本学学生の頸まわり寸法

(単位 cm)

種 類	ドレス頸付け根まわり	水 平 面
特 大	40.0	35.0
大	36.9	32.0
中	33.8	28.9
小	30.7	25.9

〔注〕・水平頸まわりとは頸のほぼ中間の位置の周径である。

・ドレス頸付け根まわりとは頸部と躯幹の接する位置の周径である。

第2表 適 応 度

(単位 cm)

体 型	要 素	種 類	A 型	B 型	C 型	D 型	第 7 図
特 大	頸付け根点から衿打ち合わせ迄の距離		11.0	8.3	6.5	5.0	ア
	衿打ち合わせ交差点の衿開き角度		31.0	36.5	40.0	44.0	
	頸付け根点の衿左右開き寸法		6.0	5.4	4.7	4.0	
大	頸付け根点から衿打ち合わせ迄の距離		9.3	6.4	4.9	3.3	イ
	衿打ち合わせ交差点の衿開き角度		30.0	39.0	44.0	50.0	
	頸付け根点の衿左右開き寸法		4.8	4.5	4.0	3.1	
中	頸付け根点から衿打ち合わせ迄の距離		7.8	5.0	3.5	2.0	ウ
	衿打ち合わせ交差点の衿開き角度		37.0	44.0	49.0	56.0	
	頸付け根点の衿左右開き寸法		5.1	4.0	3.1	2.3	
小	頸付け根点から衿打ち合わせ迄の距離		5.2	3.2	1.7	0.0	エ
	衿打ち合わせ交差点の衿開き角度		43.0	39.5	35.0	31.0	
	頸付け根点の衿左右開き寸法		4.3	2.9	2.1	0.0	

〔注〕・A型・B型・C型……第6図の標付けの種類を示す。

・ア・イ・ウ・エ……第7図の種類を示す。

・角度については単位は度を示す。

第1表・第8図は本学学生の頸まわりの測定結果を示したものである。

第6図はその測定値を用い体位と前身打ち合わせの不応度および適応度の関係について示したものである。

① 考 察 （第6図について）

- 1)最小不応度は頸付け根点A点で衿打ち合わせが交差する。
- 2)最大不応度は頸付け根点より衿打ち合わせ交差点B点までの距離が11.0cm。
- 3)適応は頸付け根点より 5.0cm下ったC点で衿打ち合わせが交差して適応基準に合致する。

② 考 察 （第2表・第7図について）

1)特大の体位に属する被験者に第4図A型を着用させた結果は次のようである。

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は11.0cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は31.0度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 6.0cm。

第4図B型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 8.3cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は36.5度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 5.4cm。

第4図C型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 6.5cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は40.0度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 4.7cm。

第4図D型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 5.0cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は44.0度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 4.0cm。

以上のことから頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ6.0cm・3.3cm・1.5cm大きい。

衿打ち合わせ交差点の衿開き角度についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ13.0度・7.5度・4.0度小さい。

頸付け根点の衿左右開き寸法についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ2.0cm・1.4cm・0.7cm大きい。

2)大の体位に属する被験者に第4図A型を着用させた結果は次のようである。

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 9.3cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は30.0度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 4.8cm。

第4図B型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 6.4cm。

- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は39.0度。

- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 4.5cm。

第4図C型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 4.9cm。

- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は44.0度。

- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 4.0cm。

第4図D型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 3.3cm。

- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は50.0度。

- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 3.1cm。

以上のことから頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ6.0cm・3.1cm・1.6cm大きい。

衿打ち合わせ交差点の衿開き角度についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ20.0度・11.0度・6.0度小さい。

頸付け根点の衿左右開き寸法についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ1.7cm・1.4cm・0.9cm大きい。

3)中の体位に属する被験者に第4図A型を着用させた結果は次のようである。

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 7.8cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は37.0度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 5.1cm。

第4図B型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 5.0cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は44.0度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 4.0cm。

第4図C型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 3.5cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は49.0度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 3.1cm。

第4図D型を着用させた結果

- ①頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 2.0cm。
- ②衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は56.0度。
- ③頸付け根点の衿左右開き寸法は 2.3cm。

以上のことから頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ 5.8cm・3.0cm・1.5cm大きい。

衿打ち合わせ交差点の衿開き角度についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ19.0度・12.0度・7.0度小さい。

頸付け根点の衿左右開き寸法についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ 2.8cm・1.7cm・0.8cm大きい。

4) 小の体位に属する被験者に第4図A型を着用させた結果は次のようである。

- ① 頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 5.2cm。
- ② 衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は43.0度。
- ③ 頸付け根点の衿左右開き寸法は 4.3cm。

第4図B型を着用させた結果

- ① 頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 3.2cm。
- ② 衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は39.5度。
- ③ 頸付け根点の衿左右開き寸法は 2.9cm。

第4図C型を着用させた結果

- ① 頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 1.7cm。
- ② 衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は35.0度。
- ③ 頸付け根点の衿左右開き寸法は 2.1cm。

第4図D型を着用させた結果

- ① 頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離は 0.0cm。
- ② 衿打ち合わせ交差点の衿開き角度は31.0度。
- ③ 頸付け根点の衿左右開き寸法は 0.0cm。

以上のことから頸付け根点から衿打ち合わせまでの距離についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ5.2cm・3.2cm・1.7cm大きい。

衿打ち合わせ交差点の衿開き角度についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ12.0度・8.5度・4.0度大きい。

頸付け根点の衿左右開き寸法についていえることはD型に対してA型・B型・C型はそれぞれ4.3cm・2.9cm・2.1cm大きい。

- 特大・大・中の頸付け根点から衿打ち合わせ迄の距離についていえることは体位が大きくなるにしたがって距離は小さくなっていく傾向が認められた。
- 衿打ち合わせ交差点の衿開き角度については体位が大きくなるにつれて角度も大きくなる傾向が認められた。

頸付け根点の左右衿開き寸法については体位が大きくなるにしたがって衿開き寸法が狭くなる傾向が認められた。

- 小についていえることは三項目とも体位が大きくなるとその数値は小さくなる傾向が認められた。

- 体位と標付けの関係についていえることは

- 1) 特大の体位には第4図のD型
- 2) 大の体位には第4図のC型
- 3) 中の体位には第4図のB型
- 4) 小の体位には第4図のA型

がそれぞれ適応度基準に適合していることが認められた。

VI 結 び

近年の日本人の体位の向上はめざましいものがある。したがって指導者はこれまでの依頼的態度をすて、いかなる標付けが機能・美的両面において目的にかなった標付けであるかを創造的に作成する力を養い得るような被服構成教育でありたいと思うのである。

着物を上手に着こなすことは標付けが科学的になされているかどうかである。

最近の着付けに関する指導書をみると大部分が胸部にパットの類を入れて体型を補正している傾向がうかがわれることはだれしも経験していることであろう。それを用いることはかえって着心地を悪くし、最近の若い人たちに敬遠される原因ともなっている。

そこで私どもはパット類を入れないことを目的に、今回はその第一歩として体位を考慮した合理的な標付けの方法を考え、それに基づいて製作することを試みたのである。

今回の岡・野津式の標付けは体位に合い、衿元・胸元の美しさと着心地のよい被服構成として効果をあげ得たと確信している。

今後の課題としては下半身について研究を進めていきたいと考えている。

* 参 考 文 献 *

- 1) 岡・野津：衿肩あきの明け方……日本家政学会において講演 (1971)
- 2) 岡・野津：衿肩まわりの衿付け線……日本家政学会において講演 (1971)
- 3) 岡・野津：衿芯の入れ方……日本家政学会中四国支部において講演 (1973)
- 4) 田中豊編：現代ホーム百科事典第4巻、学習研究社 (1967)
- 5) 米沢光他数名：裁縫精義、東洋図書 (1927)
- 6) 日本人間工学会衣服部会編：被服と人体、人間と技術社 (1972)
- 7) 細野久：私たちの着装、教育図書 (1972)
- 8) 柳沢澄子他4名：被服構成学、光生館 (1971)
- 9) 成田順也1名：和裁の研究、同文書院 (1971)
- 10) 坪田欽一：家庭百科大事典7、暁教育図書 (1967)
- 11) 土井幸代：和裁、同文書院 (1971)
- 12) 岩松マス：和服裁縫前編、雄鶏社 (1968)
- 13) 大塚末子：新しい和裁、同文書院 (1972)
- 14) 稻垣和子他2名：現代の和裁、建帛社 (1971)
- 15) 藤田とら：和服裁縫、光文社 (1970)

(昭和49年1月4日受理)